

本誌が消化性潰瘍の特集を組むのは1986年の10月号以来である。この間、H₂ブロッカーの普及、プロトンポンプインヒビターの登場と話題に事欠かず、潰瘍に関する論文はすさまじいほどである。なのに、なぜ、沈黙を守ったのか。本誌の主眼とする形態学の観点からすれば、主観に陥らず客観的判断に堪えるデータの蓄積と思考が不可欠なのである。その意味では、今回の難治性胃潰瘍の特集は満を持していた感がある。渡辺らの病理組織学的見解や、岡田らのX線所見の統計学的処理は、新たな消化性潰瘍の研究方向を示唆し

た。内視鏡やEUSの論文も興味深い、今ひとつ迫力を感じないのは、一面からのみの捉え方という基本的な弱さがあるのだろうか。他検査との対比、対決の姿勢が必要なかもしれない。企画に際して、難治性潰瘍を激論の末、8週未治癒としたが、いずれの論文にも有意義な結果が得られており、安心した。形態学にも統計学が不可欠の時代となったが、インプットする検査所見の読みが正しく確立されたものでなければ、結論に大きな誤りの生まれる可能性のあることを改めて述べておきたい。

胃と腸

1月号(第28巻・第1号) 予 告

 発売予定 1月15日
 定 価 1,957円(税込)

主題／胃癌は変わったか—その時代的変遷

- 序 説** 胃癌は変わったか—その時代的変遷……………林外科病院 高 木 國 夫
- 主 題** 集検発見胃癌の時代的変遷……………福井県立病院・外 細川 治・他
 施設発見胃癌の時代的変遷—X線診断の立場から……………都がん検診センター 西澤 護・他
 施設発見胃癌の時代的変遷—内視鏡の立場から……………虎の門病院・消 早川 和雄・他
 胃癌の形態学的変遷と治療法の変化……………癌研・消外 中島 聡總・他
 胃癌の時代的変遷—病理形態学の立場から……………大阪成人病センター・病 石黒 信吾・他
- 座 談 会** 胃癌は変わったか—その時代的変遷……………金沢大がん研究所・外 磨伊 正義・他
- 今月の症例** 非定型的腫瘍形成型胃悪性リンパ腫の1例……………福岡大・1内 前田 和弘・他
 平坦型大腸癌の1例……………藤田保健大・内 中野 浩・他
- 症 例** 深達度診断が困難であった大腸のIIc+IIa型m癌の1例……………虎の門病院・消 吉田 行哉・他

胃と腸 (第27巻 第12号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 金原 優

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

販売部直通 (03) 3817-5659

1992年12月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,957円(本体1,900円)(配送料81円)

年々め予約購読料22,320円(本体21,670円)

(送料弊社負担)

FAX (03) 3815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 3813-5001

広告取扱 医界弘報社 ☎ (03) 3814-5771

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1992, Printed in Japan.

• 本誌に掲載された著作物の複写・転載およびデータベースへの取り込みに関する許諾権は医学書院が保有しています。

• **R** <日本複写権センター委託出版物・特別扱い>

• 本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。本誌は日本複写権センターの特別委託出版物です。複写される場合は、そのつど事前に日本複写権センター(03-3269-5784)の許諾を得てください。

(担当)窪田・渡邊・江口・長谷川